

新規ラップフィルムの 実用性確認試験

JAひがし宗谷

(有)拓進ファーム



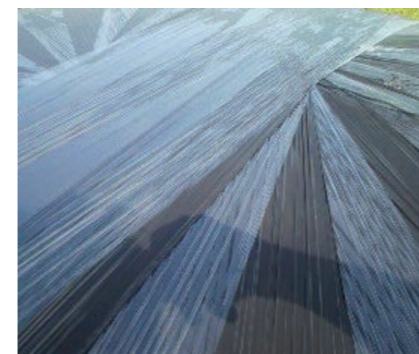
ラッピング作業



ラッピング1



ラッピング2



ラッピング3

試験目的

新規ラップフィルムの実用性の検証

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

ストレッチフィルム(透明) 500幅

慣行資材

ベリーラップ(黒) 500幅

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

- ・包装に関しては問題なし。
- ・ラッピング作業については問題なし。
- ・慣行品とほぼ変わらない作業性であった。

モニター感想

- ・作業性は慣行品と変わりなく、商品に問題は感じられなかった。
- ・慣行品に比べフィルムが安価であるが薄いため、貯蔵期間が短い牧草用ラップとして使用するのが望ましいのではないかとと思われる。

JA担当者の感想(小山内店長)

作業性や包装状態に問題はないと思う。
引き続き安価でかつ質の高い資材の導入を望む。

今後の使用について

品質や供給体制の安定を図ることができれば、次年度も使用を検討したい。

将来希望する資材について

慣行品(ベリーラップ)並みの品質で試験品(ストレッチフィルム)並みの安価な資材。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材